

## <香川県内の経済動向> (2019年3月作成分)

現在の景気：回復している。

3か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

### 個人消費：

- ① 着実に持ち直している。
- ② 1月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比1.4%減と3か月連続で減少。店調後は前年比5.2%減と7か月連続で減少。1月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比1.5%増と3か月連続で増加。1月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）2.3%減と2か月ぶりに減少、ドラッグストアが同5.5%増と46か月連続で増加、ホームセンターが同2.9%減と2か月連続で減少し、全体では同1.1%増と15か月連続で増加。1月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比3.1%増、小型乗用車で同9.6%増、軽乗用車で同7.8%増加し、全体では前年比7.0%増と4か月連続で増加。

### 住宅建築：

- ① 貸家を中心に減少している。
- ② 1月の住宅着工戸数は、貸家で前年比112.0%増加したものの、持家で同14.4%減、分譲住宅で同79.2%減少し、全体では前年比14.8%減と2か月連続で減少。

### 設備投資：

- ① 増加している。
- ② 「全国企業短期経済観測調査結果（2018年12月）-香川県-」における2018年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、全産業で前年度比54.8%増加見込み。

### 公共工事：

- ① 減少傾向にある。
- ② 1月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比93.5%減少したものの、県で同4.5%増、市町で同188.6%増加し、全体では同79.6%増と2か月ぶりに増加。2018年4月～2019年1月の年度累計では前年比7.6%減少。

### 輸出：

- ① 持ち直している。
- ② 1月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶が前年比26.1%減となったことから、全体では前年比25.2%減と2か月連続で減少。

### 生産活動：

- ① 振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
- ② 12月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比2.7%増加し、102.4と2カ月連続で上昇。電気機械工業（開閉制御装置・小形電動機）、その他工業（ゴムベルト）などで上昇。化学・石油石炭製品工業（医薬品）、はん用・生産用機械工業（ころ軸受・クレーン）などで低下。

### 観光：

- ① 堅調に推移。
- ② 1月の主要観光地（レオマワールド除く）の入込客数は、前年比7.6%増と2カ月連続で増加。

### 雇用情勢：

- ① 好調に推移。  
1月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.02ポイント低下の1.74倍。新規求人数（原数値）は、運輸業・郵便業、宿泊業・飲食サービス業等で増加し、医療・福祉、卸売業・小売業等で減少となり、全体で前年比5.4%減と2カ月連続で減少。

### （トピックス）

○国産オリーブの一層の発展を目指し、全国の栽培地の代表らが日本一の産地・小豆島に集う「2019 全国オリーブサミット in 小豆島」が23、24日、小豆島町内で開催された。小豆島、土庄両町をはじめ、県内外の24自治体の首長らを含めた関係者約300人が「オリーブで地域振興の実現に努める」などを柱とする共同宣言を採択した。

サミットは小豆島のオリーブ植栽110周年記念事業の一環で、小豆島、土庄両町でつくる実行委員会が開いた。

共同宣言は▽オリーブ栽培を次世代に引き継ぐため農業経営の安定、美しい景観形成、地域振興の実現に努める▽オリーブ産地間のネットワークを構築し「日本オリーブ自治体協会」を設立する▽国にIOG（国際オリーブ理事会）への加盟を要請する▽国産オリーブオイルに関してIOG基準と整合性のとれたJAS規格制定へ活動を支援する—の4項目。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	●	○	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	●	○	○	○
住宅建築	○	●	○	○	○	●	○	○
設備投資	○	●	○	●	○	○	○	○
公共工事	○	●	○	○	○	●	○	○
輸出	○	●	○	○	●	○	○	○
生産活動	○	●	○	○	○	●	○	○
観光	○	●	○	○	●	○	○	○
雇用情勢	○	●	○	●	○	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					